

# 平成 28 年仕事納め式訓示

(本庁・船泊支所)

平成 28 年 12 月 30 日

今日は、平成 28 年の仕事納めの日であります。

ただ、この日に、退職辞令の交付をするとは思ってもみなかったわけではありますが、今、退職辞令の交付をさせていただきました。

これまで一緒に働いてきた町民課の松田主幹が本日をもって退職されるわけであります。真に残念であります。

松田主幹は、昭和 53 年に役場にはいり、船泊支所を皮切りに「総務課」「町民課」「企画観光課」「水産課」「教育委員会」「産業課」など 38 年間、町民生活に関連する仕事を担当してこられたのであります。

また、野球、バスケットボール、スキー、バレーボールなどなど、あらゆるスポーツにも、その優れた力を発揮されて、楽しい思い出がたくさんあります。おそらく、皆さんのなかにもそうした方がたくさんおられると思います。

それだけに、大変残念ではありますが、人生まだまだ長いわけありますから、奥様ともども、わが町の発展にお力添いを賜りますようお願い申し上げます。

長い間、本当にありがとうございました。

さて、あらためて、今日は、平成 28 年の仕事納めの日でありまして、この一年間のご協力に心から感謝を申し上げるところでございます。

特に、地方創生総合戦略については、皆さんの格別なるご協力をいただいたおかげで多くの取組みを始めることができましたし、暮れの 16 日の審議会ではさまざまな評価を頂いた中で、来年度は前向きな事業展開をせよとの心強い方針が決まりました。

地方創生総合戦略は始まったばかりであります。それらの反省部分と改善する部分を検証しながら、新年度の事業に反映させていただきますように、あらためて、皆さんに尚一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、気象庁の発表によりますと、今年地震の回数であります。震度 1 以上の地震は 6,566 回となっております。昨年、1,842 回を 3.5 倍も多く発生しているそうです。

2011年の東日本大震災のは年1万回以上の地震がありました。年々少なくなってきたとのことで安心していましたが、今年4月の熊本地震、10月には鳥取、つい先日は茨城で震度6の地震が発生するなど、震度5以上のが33回。天塩でも地震がありました。

日本全国どこでも大きな地震の起こる可能性があり、津波の発生にも警戒しなければならないと云われています。警戒を怠りなくしていただきたいと思います。

さて、今年の町内の状況であります。礼文町の水揚げは、ホッケやタラの不漁が心配されましたが、史上初めて40億円を超える水揚げと見込まれております。

5年連続で30億円を超えるという嬉しいまた元気な浜の状況に心から感謝しているところでございます。

また、平成15年から、一貫して右肩下がりの伸び悩みでございました。本町の観光入り込み数も、今年、わずかではありますが、昨年の入り込み数を越えたことが報告されています。

117,500人、0.9%の増加で、わが国全体では海外からの観光客、所謂インバウンドは2000万人を超え、いよいよ礼文島観光も明るさが見え始めたと感じるところであり、水産観光ともに来年への大きな期待をしているところでございます。

今年の仕事始めに、私は皆さんにこんなお話をいたしました。

『今年は香深村船泊村が合併して60年という節目の年であり、昭和31年9月20日に私たちの先達は「昭和の合併」という大きな決断をしました。

当時の香深村の人口は5428人、船泊村は4446人、合わせますと9874人の礼文村。

先達は、一つの島に一つの行政体という、今になってみれば本当に大きな財産を、現在の私たちに残してくれた。

今、私たちはこの島で、そのご縁に應えるために、先人に感謝しながら、今年は「未来に元気のタネをまく」一年にしていこう。』というお話をしました。

また、4月の新年度の始まりには、『今年は「地方創生」が実質的にスタートする年であり、どうしたら礼文島が元気になれるか、どうすれば若者の希望を叶えることができるのかを実行していかなければならないが、それはわが町がひとつにまとまって進むことによって初めて実現されるもので、今年は6名もの「地域おこし協力隊」が礼文島においてになっている。

協力隊の皆さんには、子育て支援や定住対策、観光振興など多くの分野で活躍していただくことになるが、決して一人で悩まないで、周りにはいる先輩にいろいろと聞きながら進めていただきたいし、職員も協力隊の人たちに仕事を任せっきりにしないで、人と人、人と地域、また、職員同士の絆を築き上げ、ともに汗をかいて、工夫してほしい。』ということも申し上げたと思います。

さて、皆さんは、今年一年をふりかえって、どうだったでしょうか？ 未来に元気のタネをまくことができたでしょうか？ より多くの方とお話をし、たくさんの人たちの声を聞くことができたでしょうか？

そして、何よりも職員同士が絆やつながりを築くことができたでしょうか？

私たちは職員同士が、或いは町民の皆さんからも「信頼される職員」でなければなりませんし、私たちがめざすところは職員が力を合わせて「身近に住んでいる町民の皆さんが喜ぶようなまちを作れば、遠いまちからもその評判を聞いて、そのまちを慕って人が移り住んでくる」というあの有名な孔子の「近者悦遠者来（近き者悦べば遠き者来たる）」ということであります。

職員同士が絆やつながりを築き、チームワークという力が役場の中で、ともに助け合う心を生み出し、困難な仕事に立ち向かおうという大きな力となり、全ての職員がそのプラスアルファされた熱い思いを勇気と元気に変えて、わが町を元気にできるということを考えていただきたいのでございます。

最後になりますが、明日から年末年始の休みであります。私は、新しい来年の酉年に大きな期待をこめ、希望を持って迎えようと思っております。

皆さんも明るい気持ちで新年を迎え、私と一緒に、  
「礼文町を日本一元気な町にするんだ! 」と頑張っていた  
きたいと思います。

あらためて今年一年のご支援ご協力に感謝を申し上げます  
とともに、ご家族との大切な「絆」を深めるお正月にして  
いただきたい、そして、きたる新しい年に向かって、しっか  
りと鋭気を養って、仕事始めに、元気にお会いしたいと思  
います。

今年一年、本当にありがとうございました。